

平成 17 年 7 月 15 日

交通安全施設 設置要望書

市原市長 佐久間 隆義様
(写) 市原市教育長 山中 齊 様

乙月自治会会長 前田 延明
水の江小学校校長 薄 秀道
水の江小学校 P T A 会長 水上 佳明

通学路等に関し、下記の通り要望致します。

1 : 要望施設名

歩道橋 (4 丁目 - 9 丁目間の 4 箇所からの歩行が可能なもの)

* 4 箇所 : 別紙、設置場所付近地図の A - B - C - D

2 : 設置要望箇所

ちはら台東 4 丁目 - 9 丁目間 セブンイレブン前交差点 (別紙、要望箇所地図添付)

3 : 要望内容

ちはら台東 4 丁目 - 9 丁目間のセブンイレブン前交差点において、児童の通学路になって居りますが、自動車のスピードの出しすぎ等が原因で非常に危険な状態となっています。セブンイレブンの交差点側から東行きのパレエ教室側への上り坂や、最近道路が開通した帝京平成短期大学前の道からセブンイレブン先の誉田町へ抜ける上り坂 (いずれも反対行きは下り坂) またはセブンイレブン駐車場から反対車線へ車が渡ろうとした場合等無理な出入りやスピードの出しすぎなどで極めて危険で事故も多発しております、また、おゆみ野方面に左折する車両が多く信号機の青信号と歩行者用の信号機の青信号とが、常に一緒に歩行者が危険にさらされて、安全が確保出来ない状況となっております。また周辺の住民の安全を確保してほしいとの強い要望を受け、且つ交通事故防止のため交通安全施設を早急に設置くださるよう要望致します。

4 : 学童数調査状況及び今後の予測

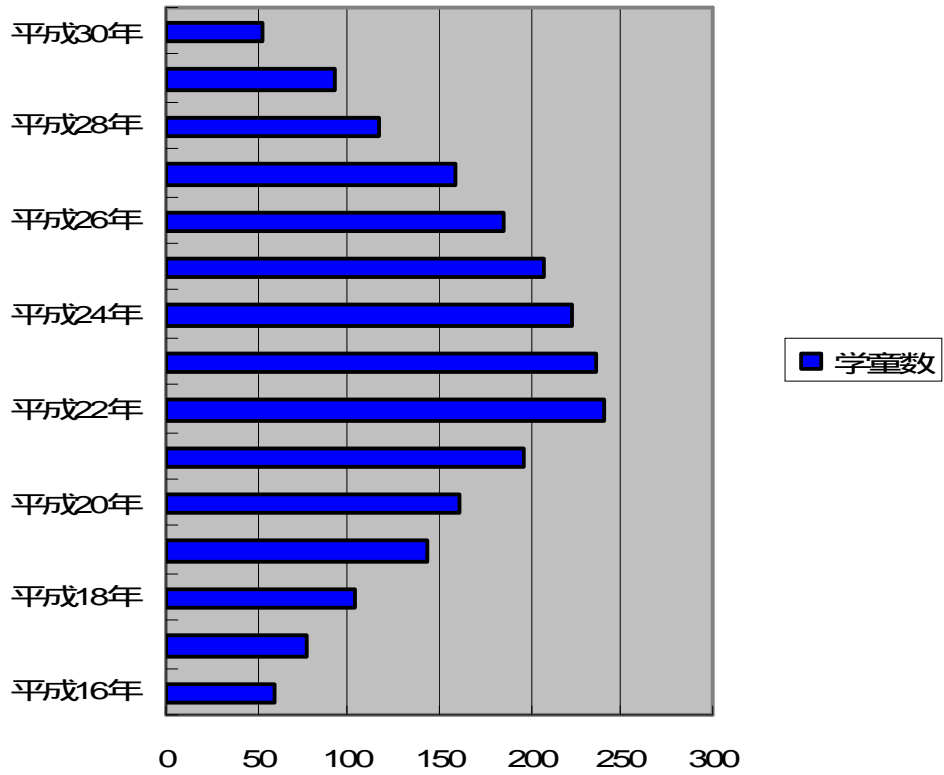
当該地区の世帯主は 2 0 代後半 ~ 3 0 代中頃が大半で、その子供たちは 0 ~ 1 0 才。特に 5 才以下の乳幼児に集中している。そのため、学童の数は年々急速に増え続けている。2 年後には 1 0 0 名を越え、平成 2 2 年の 2 4 1 名をピークに、1 0 年間続く見込みである。又、前述の通り、比較的若い世代が多いため、今後新生児が産まれる可能性が高く、又この地区は現在盛んに分譲が行われており、今後とも更に学童が急激に増える可能性は非常に高い。一方、この道路しか車での交通手段がないちはら台東 6 ~ 8 丁目の宅地は現在、殆どが未分譲地になっているが、今後住宅が大量に建設され、人口が増えるとともに車両の増加、交通量の増加が見込まれ、危険度が益々増えていくと予測される。

以上

【添付】

- * 学童数予測、年齢別人数
- * 設置場所付近地図

学童数予測



年齢別人口

